



『当たり前のこと』



青葉を渡る風がすがすがしい季節となり、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。4月の年度始めから2ヶ月が過ぎ、生徒たちは学年・学級にも慣れ、それぞれに学習や運動に励んでいるところです。

さて、3年生の修学旅行を5月28日から30日の日程で実施しました。天候にも恵まれ友だちと寝食を共にした3日間は、日本古来の歴史と文化に直接触れるとともに、集団における自分を見つめ周囲の人たちに感謝するよい機会になったことだと思います。本校の生徒たちは、宿泊先のスタッフや見学地ガイドさん、タクシーの運転手さんなどに「こんにちは。ありがとうございます。」と元気よく明るいあいさつができました。笑顔とともに言葉を交わすことは人間関係づくりの第一歩なのだと思います。天候の関係によりバスの中で行った帰校式では「思い出に残る3日間を過ごせたのは、自分たちの自覚ある行動と周りの人たちのお陰です。家に着いたら、少し照れくさいかもしけないけれど『ただいま、ありがとうございます』と大切な家族に言葉で伝えましょう」と話しました。

学校生活はもちろん、集団とは「人とのつながりを学ぶ場」とも言われます。以前、人の生き方や他者との関わり方が記された1冊の本を読みました。その内容は、当たり前のことを行なうことが大切であるというものです。日本語の「あ・い・う・え・お」50音表は「あい」で始まります。そこに「さつ」の2文字を付けると『あいさつ』。初対面の人でも親しい友人でも当たり前のあいさつを交わすことで、より良好な関係を築き、人と人がつながり、その絆も一層強くなるものです。現代には人をつなぐツールは様々なものがありますが、互いに顔を合わせて表情を見ながら言葉でつながることを忘れてはならないと考えます。

中学校以外でも、私たちは必ずどこかの集団の中で生きていきます。どのように過ごしていくのかはそれですが、できることなら居心地のよい集団であってほしいと願います。



学校支援ボランティアを募集しています。ご協力いただけませんか。

本校は敷地が広く、大きな樹木もたくさんあります。多くの緑に囲まれた美しい環境は、生徒たちの情操を豊かに育んでくれるものであり、とてもありがたいと感じます。しかしその一方で、この環境を維持するには多くの手間と時間が必要です。用務員が中心となって、草刈りや除草、植木の刈り込みなどを行っています。もちろん、清掃時や奉仕活動等による作業もありますが、生徒の安全面を考慮すると機械を扱う作業は大人が行わなければなりません。そこで、保護者や地域の方々に学校教育活動を支援していただくことで、教職員が生徒とともに過ごす時間が確保され、効果的で質の高い学校教育が推進できると考えております。保護者の皆様には、eメッセージ等により随時お知らせいたします。どうぞ皆様がお持ちの様々な特技を、生徒たちのために発揮していただければ幸いです。

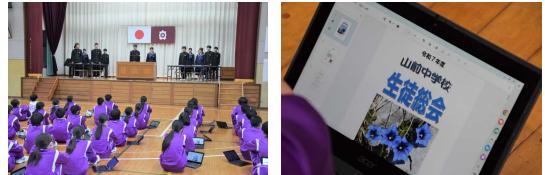
何かご不明な点がありましたら、山前中学校(TEL:82-2540、担当:添谷)までご連絡ください。その他、作業に関するご要望等も遠慮なくお知らせください。

- ◇内容……草刈り、樹木の刈り込み、花壇の手入れや掃き掃除等
- ◇期日……都合の良い日に来校してください。時間も自由で結構です。
- 事前にご連絡をいただけたらありがとうございます。
- ◇準備……作業にあった服装。刈払い機や電動バリカン、草刈り鎌、刈込バサミは学校にあります。



◇生徒総会

5月2日に生徒会による生徒総会を行いました。今年度のスローガンは、『We are challengers ～がんばりの精神 山中から日本へ～』です。普段の生活や学校行事など山前中学校の伝統を生かしつつ、失敗を恐れず積極的に取り組むこと。そして、自分たちにできること見つけて何事にも挑んでいこうという思いから決められています。事前の準備から当日の進行・運営まで、中央委員が中心となって進めることができました。全校生徒が協力しながら、明るく楽しい学校生活を送ることができるように期待しています。



◇中間テスト

今までの学習の成果を確認するための中間テストを5月15日・16日に実施しました。1年生にとっては初めての定期テスト。出題される範囲の復習をしっかりと行って



テストに臨みました。数日後、教科担任の先生から解答用紙が返却されました。大切なのはその後です。不正解だった問題を解き直して、なぜ間違ったのかを明らかにすることで「定着」につながります。「何点取れたか」だけでなく、繰り返すことを心がけてほしいと思います。



◇PTA評議員会

5月16日の第1回PTA評議員会では、夕方のお忙しい時間にもかかわらず多くの役員の方々にお集まりいただき、大変ありがとうございました。所属する専門委員会の決定や活動内容の検討等でしたが、予定された終了時刻より早く終わることができました。ある委員会では「私がやります！」と積極的に声が上がり、話し合いがよりスマーズに進んでいました。まさに「子どもを真ん中」にした学校との協力体制に、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。



◇創立記念日

4月28日は、本校の創立記念日でした。栃木県芳賀郡山前村立山前中学校として、昭和22年（1947年）4月に開校しました。その後、町村合併や市制の施行により昭和29年に「真岡市立山前中学校」が誕生しました。体育館やプールの竣工とともに環境緑化活動を推進し、昭和53年全国学校環境緑化コンクール中学校の部において

「特選」を受賞しました。現在の校舎は昭和54年に建てられ、昭和から平成の初めにかけて武道館や技術室・多目的室が整備されました。平成9年には創立50周年を迎える記念碑やりんどう園が造成されました。部活動では、女子ソフトテニス部、陸上競技部、弓道部、野球部、駅伝部、水泳など多くの生徒が関東大会や全国大会に出場し活躍しました。また、平成18年にはアメリカのサドブルック・マグネット・ミドルスクール訪問団が初めて本校を訪れました。令和となり、新型コロナウイルス感染症による様々な制限がありましたが、今年度は47名の1年生を迎え、未来を担う心豊かでたくましい人材育成のため地域や保護者の皆様と一緒に教育活動を推進しています。これまでの歴史を礎に、今日の山前中学校があることに深く感謝したいと思います。



〈昭和52年航空写真〉



左は、山前中学校ホームページのQRコードです。できる限り、各種行事や日頃の生徒たちの様子を掲載していきますので、ぜひ、ご覧ください。お子様のことでお困りのことやご相談、またはうれしいお知らせがございましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。基本的に、教頭（高田）が窓口となって対応させていただきます。山前中学校は、保護者の皆様や地域の皆様とともに将来を担う人材の育成に努めてまいります。

